

2 0 2 4 年 度 事 業 報 告 書

NPO法人しぶたね

I 事業期間

2024年4月1日から2025年3月31日まで

II 事業の成果

昨年度から続く活動20周年イヤーのメとなる今年度は、これまでの感謝を込めて、各地で取り組まれている、もしくは始まろうとしているきょうだい支援活動への応援にも重点を置く1年となった。

その結果、各地域のきょうだい会等とのコラボイベントや、ゲストとしてお招きいただく機会も更に増え、きょうだいさんたちと過ごすイベントは、主催分も含めてこれまでで最多となった。大阪の保健所による企画が2度も実現したことも大きい。また、11月からは4年半以上ぶりに病院の廊下での活動が復活し、廊下で待つきょうだいさんたちとの時間を少しずつ取り戻している。

また、TSURUMI こどもホスピスより打診をいただき、契約を交わしての連携事業を開始。週1回のケア会議への参加やイベントの共同開催などを行ったり、状況に応じて、あそびに来ているきょうだいさんやご家族に会いに出向かせてもらっている。会議の場でスタッフの方々の声を聴かせてもらったり、ホスピスケアの現場に関わらせていただくことは、我々自身にとって非常に大きな学びとなっている。

啓発事業についても、ご依頼をいただける機会が増え、講演回数は昨年度から若干の増加となった。シブリングサポーター研修ワークショップは、回数、人数ともに少し減少して、13回の開催、修了者336名となったが、毎年、あるいは2年に一度の継続的な開催を図ってくださる団体も増えている。全国のシブリングサポーターは、2,500人を突破して今年度末現在で2,617名となった。シブパネルは、昨年度と同様に1回の開催となったが、参加対象を少し広げることを試み、規模が少し小さくなった。登壇を新たな人をお願いするなど、引き続き少しずつ多様な形での開催を模索したい。シブリングサポーターミーティングは、今年度もオンラインで開催し、海外視察の報告をいただくと共に、活発な交流が行われた。きょうだい支援ゆるゆるカフェについては、スケジュールの確保が難しく、3回の開催に留まったが、きょうだい支援を始めようとする人の相談の機会ともなっている。

4月10日の「きょうだいの日」には、きょうだい向けにはオリジナルラムネを配布。メッセージ動画については、それぞれの団体や個人が個別にSNSで発信する形式とし、互いにリポストして盛り上げた。一般社会に向けた発信については、今年はXでのトレンド入りを果たせなかったものの、有名キャラクターやゲームの公式アカウントでの発信も増え、徐々に定着してきている。来年度に向けても、おかしな配布やメッセージ発信の準備を進めているところだが、当日や10days以外の期間にも、各地でのイベントや講演活動等でおかしな配布するなど、継続的に周知を図る工夫を検討する。

20周年記念事業については、昨年度たくさんの方々のご協力を得て実施した爆破撮影の際の画像を元にシブレンジャークリアファイルを作成してきょうだいさんたちへのクリスマスプレゼントにしたり、PVも完成させてくださったりと、「楽しく」と「感謝」を合言葉に盛り上げながら進めてきたことが形となり、イベントでお世話になった方々にお披露目することもできた。20周年記念紙も無事に作成して全国に送付することができ、20周年を契機とした周知活動を展開することができた。

事務体制については、クリスマスやシブリングデー、記念紙などの大きな発送の際に作業日を設けてボランティアさんをお願いするなど取り組んではいるものの、病院活動の再開やTSURUMI こどもホスピスの会議への参加もあり、難しい状況が続いている。引き続き改善を図りたい。

Ⅲ 事業の実施状況

1. きょうだいサポート事業

(1) きょうだいのためのワークショップ「きょうだいさんの日」の開催

【内 容】 きょうだいに集まってもらい、安心して過ごせる空気の中であそんだり、おやつをみんなで食べたり、親子でふれ合うなどのワークショップを行った。毎週金曜日のオンラインミニ企画「シブレットのへやのとびら あけておくね」も継続しており、今年度は52回実施、累計で272回の開催となった。

【実施時期・場所・参加きょうだい人数】

① 6月29日(土) 茨木保健所	5名
② 7月21日(日) オンライン(グリーフ企画)	7名
③ 7月27日(土) オンライン(学生進路企画)	14名
④ 7月27日(土) シュシュベランダ	3名
⑤ 8月4日(日) Studio Mizuki(北陸きょうだい会)	5名
⑥ 8月18日(日) ドーンセンター(ちょこっと縁日)	16名
⑦ 8月24日(土) 東京未来大学	1名
⑧ 8月25日(日) 日本調剤つくば西大通り東薬局	8名
⑨ 10月20日(日) ドーンセンター	5名
⑩ 11月17日(日) 入間市産業文化センター(埼玉障難協)	7名
⑪ 12月8日(日) TSURUMI こどもホスピス	7名
⑫ 12月15日(日) オンライン(おかしうちわをつくろう)	27名
⑬ 12月21日(土) 静岡県立こども病院(きょうだいカフェゲスト参加)	
⑭ 12月22日(日) ふれあい交流センター浜北(ミントモゲスト参加)	
⑮ 1月13日(月) 地球市民交流センター(愛知こどもホスピス)	2名
⑯ 1月26日(日) くまびあ(NPOにじいろ)	6名
⑰ 2月2日(日) オンライン(グリーフ企画)	5名
⑱ 2月11日(火) ゆかりの森(かけはしねっと)	7名
⑲ 2月22日(土) オンライン(工作の会)	2名
⑳ 3月2日(日) ドーンセンター	4名
㉑ 3月14日(金) 大阪市立総合医療センター	2名
㉒ 3月16日(日) アンミッコ保育園(IDDM こども交流会ゲスト参加)	
㉓ 3月20日(木) 名古屋大学医学部附属病院(ゲスト参加)	
㉔ 3月25日(火) 四条畷保健所	3名
◎ オンライン企画「シブレットのへやのとびら あけておくね」	

毎週金曜日

各回3～10名

【対象者】 病気をもつ子どものきょうだい

【収 益】 なし

【費 用】 834,989円(給料手当 240,000円、臨時雇賃金 60,000円、法定福利費 24,768円
印刷製本費 420円、旅費交通費 83,740円、通信運搬費 69,400円
消耗品費 219,553円、賃借料 132,158円、保険料 4,950円)

(2) 面会中の親を病院の廊下で待つきょうだいと過ごす活動

- 【内 容】 親が入院中の子どもの面会に行く際、感染の問題から病棟に入ることができず、廊下で待っているきょうだいと、おもちゃなどであそぶ。コロナ禍に入ってから病院に立ち入る許可が下りず休止中だったが、11月より再開となった。
- 【実施場所】 大阪市立総合医療センター7階廊下
- 【実施時期】 毎月1回目、3回目の水曜日 18時～20時
- 【対 象 者】 病院に入院している子どものきょうだい
- 【収 益】 なし
- 【費 用】 200,572 円（給料手当 120,000 円、法定福利費 21,516 円、旅費交通費 1,800 円
消耗品費 57,256 円）

(3) きょうだいサポート冊子の作成・配布

- 【内 容】 きょうだいと大人とで読んだり書き込んだりできる小冊子「きょうだいさんのための本」、病気のきょうだいを亡くした子ども向けの「きょうだいさんのための本②」を配布。今年度は配布機会も戻りつつあり、第1弾を5,000部増刷。累計発行部数はそれぞれ52,000部、40,000部の計92,000部となった。
- 【実施場所】 事務局より発送
- 【実施時期】 随時
- 【対 象 者】 きょうだい、きょうだいに関わる人
- 【収 益】 なし
- 【費 用】 264,503 円（給料手当 120,000 円、法定福利費 21,517 円、印刷製本費 111,835 円
通信運搬費 11,151 円）

(4) TSURUMI こどもホスピス連携事業

- 【内 容】 日本初の地域型子どもホスピスである「TSURUMI こどもホスピス」の週1回のケア会議に出席し、活動で得てきた知見を共有。協働でのグリーフイベントも1回実施した。また、必要に応じてホスピスに訪れるきょうだいさんやご家族に会いに行ったり、きょうだいさんも訪れるイベントに参加した。
- 【実施場所】 TSURUMI こどもホスピス
- 【実施時期】 毎週水曜日 ケア会議
8月10日（土）グリーフきょうだいさんの日
10月13日（日）ビーズ・オブ・カレッジきょうだいプログラム
11月10日（日）ラビンユーデイ
12月15日（日）Meet up
その他、必要に応じ随時訪問
- 【対 象 者】 きょうだい、きょうだいに関わる人
- 【収 益】 1,620,000 円
- 【費 用】 1,629,914 円（給料手当 1,350,000 円、法定福利費 226,884 円、
旅費交通費 29,030 円、消耗品費 24,000 円）

2. 啓発事業

(1) 講師派遣、寄稿等事業

【内 容】 きょうだいの現状及び支援の必要性を広く訴えるため、要請に応じて講師の派遣や各種発行物への寄稿、各種メディアの取材対応を行った。

【実施時期・場所】

・講演

- ① 4月4日(木) こども時間案内人 もっとみーとフィー
- ② 4月13日(土) ひがしまつど小児科 きょうだい講演会&座談会
- ③ 5月6日(月) 北海道こどもホスピスプロジェクト 勉強会
- ④ 5月25日(土) 大阪総合保育大学 特別支援教育集中講義
- ⑤ 5月30日(木) 日本病院ボランティア協会 オンライン交流会
- ⑥ 6月7日(金) 国立成育医療研究センター 小児がん緩和ケアレクチャー
- ⑦ 6月13日(木) 小児病棟わくわく応援団勉強会
- ⑧ 7月6日(土) 社会福祉法人くるみ くるみ勉強会
- ⑨ 7月8日(日) 静岡文化芸術大学 地域福祉論
- ⑩ 7月12日(金) 国立病院機構 近畿学生フォーラム
- ⑪ 8月17日(土) 大阪市保健所 療養相談会
- ⑫ 8月22日(木) グリーフサポート・リヴ スタッフ研修
- ⑬ 9月14日(土) ケアラー支援のためのオンラインセミナー
- ⑭ 9月20日(金) 小児心身医学会 イブニングセミナー
- ⑮ 9月21日(土) 小児心身医学会 きょうだいワークショップ
- ⑯ 10月7日(月) 園田学園女子大学人間健康学部人間看護学科 初年次演習Ⅱ
- ⑰ 10月22日(火) 明石市教育委員会 特別支援教育コーディネーター研修会
- ⑱ 10月26日(土) 兵庫県民間病院協会 事務長会・看護部長会合同研修会
- ⑲ 10月29日(火) 船橋市小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 講演会
- ⑳ 10月31日(木) 大阪府泉佐野保健所 講演&交流会
- ㉑ 11月3日(日) JDDnet セミナーin えひめ
- ㉒ 11月4日(月) 名張市子ども発達支援センター 支援者対象研修会
- ㉓ 11月15日(金) 東京未来大学 障害者障害児心理学
- ㉔ 11月21日(木) 大阪西南ローターアクトクラブ 定例会
- ㉕ 11月22日(金) 九州沖縄ブロック小児がん相談員継続研修会
- ㉖ 11月22日(金) 九州大学病院 小児緩和ケアチーム勉強会
- ㉗ 11月23日(土) ユーアイ帆っとセンター ゆーあいほっと交流会
- ㉘ 11月23日(土) 東京小児科医会 学術講演会
- ㉙ 11月25日(月) 宮城大学 家族看護論
- ㉚ 11月26日(火) SKIP&CLAP SKIP CAFE
- ㉛ 11月29日(金) 吹田市 慢性疾患児の学習交流会
- ㉜ 11月30日(土) 秋田県立医療療育センター医療的ケア児等地域生活支援研修
- ㉝ 12月5日(木) 泉南市社会福祉協議会 保育ボランティア講座
- ㉞ 12月7日(土) 関西国際大学 病弱児の心理・生理・病理

- ③⑤ 12月14日(土) ケアラー支援のためのオンラインセミナー
- ③⑥ 12月16日(月) 医療的ケア児等支援者コーディネーターフォローアップ研修
- ③⑦ 12月25日(水) 札幌市 医療的ケア児等支援者養成研修
- ③⑧ 1月7日(火) 神戸大学 教師入門
- ③⑨ 1月11日(土) 新潟県 小児がん患者・家族支援研修会
- ④⑩ 1月23日(木) 姫路市保健所 難病学習会
- ④⑪ 1月24日(金) 大阪医科薬科大学 LD センター Web 講演会
- ④⑫ 1月25日(土) チャイルドライフスペシャリスト協会 講演会
- ④⑬ 1月25日(土) NPO にじいろ きょうだい支援講演会
- ④⑭ 2月1日(土) きょうだい家族学習会 講演会
- ④⑮ 2月6日(木) 堺市難病患者支援センター 学習交流会
- ④⑯ 2月20日(木) 長野県 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業研修会
- ④⑰ 2月24日(月) ポケットサポート 病気療養児支援・多職種連携フォーラム
- ④⑱ 2月27日(木) 日本病院ボランティア協会 交流会
- ④⑲ 3月15日(土) きょうだい支援を広める会 20周年記念イベント
- ・ 寄稿、出演など
 - ① 部落解放・人権研究所「月刊ヒューマンライツ」7月号
 - ② へるす出版「小児看護」9月号
 - ③ 9月11日(土) 北海道新聞(シブサポ告知)
 - ④ 9月30日(土) 北海道新聞(シブサポ報告)
 - ⑤ 10月17日(木) ラジオ関西 Clip
 - ⑥ 教学社「赤本 福岡県立大学 福岡女子大学」(小論文資料)
 - ⑦ メディカ出版「第2版 18トリソミー」
 - ⑧ スペシャルキッズ支援士養成講座 教科書
 - ⑨ 12月28日(土)、29日(日) 心魂プロジェクト 対談ライブ
 - ⑩ 1月4日(土)、5日(日) 心魂プロジェクト 対談ライブ
 - ⑪ 2月12日(土) 埼玉新聞(講演会報告)
 - ⑫ 2月21日(火) 静岡新聞(シブサポ報告)
 - ⑬ ポケットサポート「小慢自立支援員まるわかりハンドブック」
 - ⑭ 3月15日(土) 毎日新聞(小児がん征圧募金贈呈式)
 - ⑮ きょうだい支援を広める会 20周年記念誌
- ・ ブース出展等
 - ① 4月1日(月)～3月31日(月) 日本フィランソロピー協会 誕生日寄付
 - ② 4月11日(木) イオンイエローレシートキャンペーン贈呈式
 - ③ 4月20日(土) 愛知こどもホスピスプロジェクト 1周年シンポジウム
 - ④ 5月12日(日) 小児病棟わくわく応援団チャリティイベント
 - ⑤ 6月1日(土) 愛知こどもホスピスプロジェクト サンクスデー
 - ⑥ 6月11日(火) イオンイエローレシートキャンペーン店頭 PR
 - ⑦ 6月16日(日) 小児病棟わくわく応援団サミット
 - ⑧ 7月15日(月) タケダ NPO サポートプログラム チャリティイベント

- ⑨ 7月31日(水)～8月2日(金) H2O サンタ NPO フェスティバル
- ⑩ 8月11日(日)～12日(月) LUSH ららぽーと和泉店 チャリティポット
- ⑪ 9月7日(土)～8日(日) 日本外来小児科学会ブース出展
- ⑫ 9月11日(水) イオンイエローレシートキャンペーン店頭 PR
- ⑬ 10月11日(金) イオンイエローレシートキャンペーン店頭 PR
- ⑭ 11月30日(土) LUSH ららぽーと和泉店 グラスルーツイベント
- ⑮ 3月6日(木) Daigas グループカフェテリプラン社会貢献クラブ 寄贈式
- ⑯ 3月8日(土) ワクワクつながる祭典 2025
- ⑰ 3月11日(火) イオンイエローレシートキャンペーン店頭 PR

【対象者】	保健所、患者会、学校、病院、支援団体など
【収益】	1,442,256 円（講師料等）
【費用】	815,821 円（給料手当 480,000 円、臨時雇賃金 60,000 円、法定福利費 43,033 円 旅費交通費 215,470 円、通信運搬費 4,550 円、消耗品費 3,788 円 賃借料 1,980 円、広告宣伝費 7,000 円）

（２）シブリングサポーター養成事業

- 【内 容】 きょうだいの現状及び支援の必要性を理解し、必要なスキルを習得した人材を育成するため、テキストを用意して研修を行い、修了者を「シブリングサポーター」に認定。次なるステップとして、大人になったきょうだいの声を聴く会「シブパネル」も開催した。さらに、修了者を対象にした「シブリングサポーターミーティング」を開き、サポーター同士の情報交換や意識の共有を図りつつ互いに励まし合い、一緒にきょうだいを応援する仲間が存在を確認できる場を設けるとともに、より気軽につながれる「きょうだい支援ゆるゆるカフェ」も３回実施した。

【実施時期・場所・参加人数】

・シブリングサポーター研修ワークショップ		
①	6月9日(日) 愛媛大学医学部総合教育棟	12名
②	6月27日(木) オンライン(東京医療保健大学)	30名
③	7月7日(日) たかやまこども園	18名
④	7月28日(日) 千里金蘭大学	30名
⑤	9月3日(火) CEN 2 新大阪	4名
⑥	9月29日(日) 札幌市立大学	49名
⑦	1月12日(日) 名古屋市市民活動推進センター	44名
⑧	2月1日(土) 和歌山男女共生推進センター	26名
⑨	2月9日(日) 武蔵野大学	40名
⑩	2月15日(土) 聖隷クリストファー大学	43名
⑪	2月17日(月) 大井町 RENTAL Space	5名
⑫	2月26日(水) TSURUMI こどもホスピス	12名
⑬	3月4日(火) オンライン(秋田大学 SSA)	23名
・シブパネル		
	2月8日(土) 横浜市立大学	24名

・シブリングサポーターミーティング

3月22日（土）オンライン

23名

・きょうだい支援ゆるゆるカフェ（すべてオンライン）

①4月27日（土）12名、②9月14日（土）9名、③1月19日（日）7名

【対象者】 病院スタッフ、学生、きょうだい支援に関心のある一般市民

【収益】 932,500円（研修参加費）

【費用】 635,872円（給料手当 390,000円、臨時雇賃金 60,000円、法定福利費 44,581円
諸謝金 80,000円、印刷製本費 6,330円、旅費交通費 8,570円
通信運搬費 34,914円、消耗品費 3,589円、賃借料 6,688円
保険料 1,200円）

（3）シブリングデー啓発キャンペーン

【内容】 今年度は、きょうだい向けには、10,000個のオリジナルラムネを作成、配布するとともに、メッセージ動画等については、団体や個人それぞれにSNSで発信する形に変更し、互いにリポストし合った。一般向けには、Xでのトレンド入りは果たせなかったが、各地のきょうだい支援仲間と協力してSNSでの発信を積極的に行い、記念日としての周知、定着を図った。

来年度に向けては、きょうだいの日や10days以外の期間にもイベントや講演会等で配布するべく、オリジナルのあめちゃんとラムネの両方を、数量を増やして作成した。メッセージ動画等も今年度と同様にSNSで各自発信してもらい、みんなで盛り上げて今度こそXでのトレンド入りを果たせるよう準備中。

【イベント実施時期・場所・参加人数】

・きょうだいの日 かんぱいしょうの会

4月10日（水）オンライン

23人

【収益】 なし

【費用】 649,211円（給料手当 150,000円、法定福利費 24,768円、印刷製本費 112,860円
旅費交通費 800円、通信運搬費 50,424円、消耗品費 303,159円
賃借料 7,200円）

（4）20周年記念事業

【内容】 20周年イヤーの締めとなる今年度は、星つむぎの村さんにもご協力いただき、50周年を迎えられた大阪西南ローターアクトクラブさんとのダブル記念イベントを開催、完成したシブレンジャーPVもお披露目することができた。記念誌も作成し、きょうだいさんのための本も添えて、全国の小児科のある病院と保健所949カ所に送付。20年の感謝を伝えるとともに活動の周知を図った。

【イベント実施時期・場所・参加人数】

・大阪西南ローターアクトクラブ50th&しぶたね20thダブル記念イベント

1月18日（土）ドーンセンター

40人

【収益】 なし

【費用】 547,398円（給料手当 240,000円、臨時雇賃金 30,000円、法定福利費 24,768円

印刷製本費 58,540 円、会議費 1,629 円、旅費交通費 800 円
通信運搬費 115,890 円、消耗品費 66,141 円、賃借料 8,280 円
保険料 1,350 円)

IV 社員総会の開催状況

第8回通常総会

- 【日 時】 2024年5月26日(日) 11時30分から13時00分まで
【場 所】 大阪府中央区大手前1丁目3-49 ドーンセンター 小会議室
【社員総数】 11名
【出席者数】 11名(うち電磁的記録による表決者数1名)
【内 容】 第1号議案 2023年度事業報告書承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第2号議案 2023年度決算承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第3号議案 旅費支給規程承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認

V 理事会その他の役員会の開催状況

第8回理事会

- 【日 時】 2024年5月26日(日) 10時00分から11時30分まで
【場 所】 大阪府中央区大手前1丁目3-49 ドーンセンター 小会議室
【理事総数】 5名
【出席者数】 5名
【内 容】 第1号議案 2023年度事業報告書承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第2号議案 2023年度決算承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第3号議案 旅費支給規程承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第4号議案 2024年度事業計画書承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第5号議案 2024年度予算承認の件 審議の結果、全員一致で可決承認
第6号議案 役員任期満了につき改選の件、審議の結果、全員一致で可決承認
第7号議案 理事長及び副理事長選定の件、審議の結果、全員一致で可決承認